

# せったん

第134号 2011年4月5日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



講師の井尻博和先生

## 医科・歯科 合同研究会

### 睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置

―医科・歯科の連携―

#### 「簡便で携行性もよいOAを

#### 臨床に活かせるように」

北摂・丹波支部は2月26日、三田市総合福祉保健センターで医科歯科合同研究会を開催。北区・井尻歯科クリニック院長の井尻博和先生が「睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置治療」をテーマに講演し、20人が参加した。

参加者の谷口順一先生(三田市・たにぐちデンタルクリニック)の感想文を紹介する。(兵庫保険新聞3月25日号掲載)

【感想文】  
先日、三田にて行われました研究会に参加してきました。テーマは睡

眠時無呼吸症候群(以後SASとします)で、医科と歯科の連携についての講演でした。

実際のSASの方は、日本人全体の3%程度おられるようです。治療法はCPAP療法が第1選択ですが、機械の音が気になる方がおられたり、携行しにくいことなどにより、3年後には約半数の方しか治療を継続されないそうです。

CPAP療法よりも多少効果は落ちるようですが、簡便で携行性も良い口腔内治療装置(以後OAとします)もあり、歯科医院にて保険診療で行うことができます。ただ、そのためにはPSG検査を受け、SASの確定診断が必要で、かつ検査を行った医療機関からの紹介状が必要なようです。



挨拶をする森下順彦支部長と司会を務める岡本晴夫先生

PSG検査を行える医療機関もそれほど多くはないようなので、実際に臨床に活かすことは難しいですが、知識として知っておくことは大切だと思うので、今回の講演は非常に有意義でした。

SASの方は3%程度ですが、イビキをかく方は10%強おられるようで、恥ずかしながら私自身もその一人です。イビキは周りの方に迷惑をかけてしまうのが悩みです。OAはイビキにも効果があるようなので、まずは自分自身で効果を確かめてみた上で、今後の臨床に活かせるよう努力していきたいと思えます。

【三田市・歯科 谷口 順一】

「請求漏れ・請求間違い」はありませんか？

## 在宅医療点数研究会

～往診・訪問診療、在宅点滴注射、在宅療養指導管理など～



北摂・丹波支部は、3月26日に在宅医療点数研究会を開催した。講師の木村忠史副支部長は、昨年の

改定で導入された訪問診療料等の「同一建物居住者」の取り扱いや在宅で処置を行う場合に注意が必要な「在宅寝たきり患者処置指導管理料」と「在宅時医学総合管理料」との関係などの算定のポイントについてスライドを使いながら説明。

また特に在宅医療では介護保険が優先される原則があるため、「在宅患者訪問点滴注射管理指導料」を算定する場合には介護保険の訪問看護は対象にならないことなど、レセプト事例も示しながら算定間違いしやすい点について詳細に解説した。

研究会には他支部からも含めて55人が参加し、木村先生のわかりやすい説明で在宅医療点数の理解を深めた。

講師の木村忠史副支部長



55人が参加し、熱心に聞き入った

会員訪問  
インタビュー③

「医療連携で地域医療に徹したい」

三田市・岡本歯科医院

岡本 晴夫 先生



インタビューにこやかに応じる  
岡本晴夫先生(診察室にて)

今回は支部幹事の岡本晴夫先生(三田市フラワータウン)をお訪ねし、日頃の診療・協会活動などお聞きした。

―歯科医師を目指された理由は何ですか？

岡本晴夫先生(以下、岡本)

親戚に歯科医師がいたのがきっかけですね。三田出身なので地元での開業を考えて探していたところ、ニュータウン開発が始まった昭和58年にたまたま今の場所が見つかり、開業して30年近くになります。10年ほど前までは、人口も増えて忙しかったです。

今は、当時の子どもたちもここから離れ、親は高齢化してきました。

―この辺りでも、不況や不安定雇用などの経済的理由による受診への影響はありますか？

岡本 学校の歯科検診で歯の状態が悪い子どもに受診を勧めても、なかなか治療に行かない子どもも少なくありません。三田市では、

4月から小学6年生まで外来の医療費負担がなくなるので、ぜひ受診してほしいですね。

それに、最近若者の受診が年々少なくなっています。最初に窓口で「治療費がいくらかかりですか」と聞かれることも増えてい



陶芸体験(2007年9月)



ダイビング&平和ツアー(2010年7月)



保団連夏季セミナー(2010年7月)

ます。以前はこんなことはなかったですけどね、少なからぬ影響が出ていると思います。

―日ごろの診療で心がけておられることはありますか？

岡本 近くの済生会病院には口腔外科もあるので難しい症例は紹介しています。三田市の特徴とも言えますが、医科の先生とも日頃から学校医歯薬会などを通して仲良くしていただいていますので、連携もうまくいっていると思います。そのような状況もあり、自分自身は地域医療に徹することを心がけています。

―先生には長らく支部幹事として活躍いただいています。幹事に出席されるようになったきっかけは？

岡本 協会には開業してすぐに入会しましたが、長い間会費を払うだけの会員でした。ある時、幹事の大槻先生からお誘いを受けて幹事に参加するようになりました。最初は、別の会合と日時が重なっていたのでなかなか出席できませんでしたが、最近はそれもなくなり、ほぼ毎月出席させてもらっています。

―協会は医科歯科一体で、幹事会でも医科の先生と日常診療のことなどいろんな話を聞けるので楽しみです。

―支部のレク企画の陶芸やガラス工芸、そば打ち、文化部のスキュー

バダイビングにも参加いただいて、趣味がとて多いですが、今は何をされていますか？

岡本 学生時代は剣道をしていて、大学のOB会の会長をさせられています。今は応援組です。ゴルフも以前はよく行ってましたが、これも最近は無沙汰しています。

―陶芸は支部の「陶芸体験」の企画より少し前からでしょうか、そば打ちは、福田先生に教えてもらいはまっています。昔から続けているのはスキーです。

―何でも興味のあることは浅くてもいろんなことをしたいですね。

―最後にこれからの北摂・丹波支部の活動に期待することをお聞かせ下さい。

岡本 昨年の夏は、支部の福田先生や武本先生と一緒に保団連夏季セミナーに参加してとても勉強になりました。今年もぜひ参加したいと思います。来年の支部の「か」にツアー」も楽しみにしています。

―レクリエーションに参加すると、会議や勉強会では出来ない話も出て来て親しくなれますね。

―ぜひ、他の先生も気軽に参加していただければと思います。

―お忙しいところありがとうございます。



開業当初から受付に飾られている書は奥様自筆のもの。「心機」